

健診検査センターニュース

No.561号

運営委員会より

10月20日（木）平成28年度第7回の運営委員会を開催いたしました。

1. 特定健診9月の受診者数は、下記のとおりでした。

	9月受診数（前年比）	累 計（前年比）	函館市国保受診率 9月現在 9.73% / 目 標 30.0%
函館市国保	1,356人（△ 32）	5,097人（△ 377）	
後期高齢者	770人（+101）	2,911人（+ 61）	
その他	244人（+ 20）	934人（△ 65）	
合 計	2,370人（+ 89）	8,942人（△ 381）	

実施機関：97施設／登録機関101

2. 28年9月の健診検査事業収入は、下記のとおりでした。

	8月（前年同月比）	28年度累計（前年比）
一般検査収入	90.5 %	91.6 %
健診収入	107.8 %	100.0 %
合 計	98.1 %	95.3 %

《 ちょっと一言 》

朝夕はめっきり冷え込み、紅葉の季節になりました。

今回はすごい警察本部長さんのお話です。どこの？ この春、北海道警察函館方面本部長に赴任された小笠原和美氏です。病院や診療所でお仕事をされている皆さんの中には、自分が悪いことをしたわけじゃなくても、たまに警察と関わることがあるのではないかと思います。私は産婦人科なので、性犯罪、DVなどで警察と連携してきましたが、本部長さんとお会いしたのは小笠原氏が初めてです。今までは、本部長が交代しました、と新聞の地方欄の記事で見かける程度で、どんな人なのかはおろか、名前さえも知らないのが普通でした。ところが小笠原本部長は赴任してまもなく、産婦人科医会会長に「性犯罪被害対応の連携」を求めてコンタクトをとり、会議を立ち上げ、彼女が短時間で築いた当地での人脈を駆使して、どんどん会議を発展させています。性犯罪は彼女が特に力を入れている分野なのかもしれませんが、短時間でどんどん段取りしていくパワーには驚嘆しました。

転勤族はある程度の期間で他の地域に赴任してしまうので、現在の勤務地でどんな仕事をどこまでやるか、というのは本人の一存なのでしょうが、私自身は正直、先の移動が見えてしまうと、仕事に気合が入らないタイプでした。なので、移動がなく、基本生涯現役が可能な開業医という勤務形態を選びました。そうすると長いスパンで地域と関われると考えましたが、その反面、時間があると思ってしまうと、仕事のペースはスローです。今回、小笠原氏の活発なお仕事の背景には、早ければ1年半で転勤なので、それまでにやりたい仕事はこれ、という明確な目標があるからなのでしょう。自分をおある程度追い込むことで、仕事の生産性が上がることは間違いないと思います。たとえ多少の困難が予測されても、がしがし取り組む積極性を見習いたいものです。

(文責 小葉松洋子)

公益社団法人函館市医師会 函館市医師会健診検査センター
TEL 0138-57-6571 ・ FAX 0138-57-6580
E-mail : info@hma-labo.jp